| 学校番号 | 414 |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 地理総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校　新地理総合（帝国書院）<br>新詳高等地図（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | 新詳地理資料 COMPLETE（帝国書院）、新地理総合ノート（帝国書院） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界には様々な気候や風土、暮らしや文化、考え方があり、多様な人々が生活しています。世界の人々と理解しあえるために、視野と価値観を広げていくことが、私たちに求められています。そのために、地理に関して様々な視点でアプローチし、自分の言葉で授業の内容をまとめられるようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 | 地理に関わる事象の意味や特色、相互の関連や概念などを活用して多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明する力を身に付けている。 | 地理に関する諸事象の課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して、日本国民としての自覚や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについて自覚などを深めようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 第1部　地図でとらえる現代世界 | 第1章<br>地図と地理情報システム<br>1節　地球上の位置と時差<br>2節　地図の役割と種類 | a: 日常の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。<br>b: 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c: 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 発問評価<br>小テスト<br>定期考査 | 発問評価<br>提出課題<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>ワークノートの記述 |
| | | 第2章<br>結び付きを深める現代世界<br>1節　現代世界の国家と領域<br>1　現代世界の国家<br>2　日本の位置と領域<br>2節　グローバル化する世界 | a: 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置や領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。<br>b: 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c: 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 発問評価<br>小テスト<br>定期考査 | 発問評価<br>提出課題<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>ワークノートの記述 |
| | 第2部　国際理解と国際協力 | 第1章<br>生活文化の多様性と国際理解<br>序説　生活文化の多様性 | a：生活文化を考察する方法、国際理解の重要性について理解している。<br>b：生活文化を考察する方法、国際理解の重要性について、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c：生活文化を考察する方法、国際理解の重要性について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究・解決しようとしている。 | 発問評価<br>小テスト<br>定期考査 | 発問評価<br>提出課題<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>ワークノートの記述 |
| | | 1節　世界の地形と人々の生活 | a: 大地形、変動帯の地形、安定地域の地形、河川がつくる地形、海岸がつくる地形、氷河・乾燥・カルスト地形が、人々の生活に及ぼす影響、生活との関わりについて理解している。<br>b: 大地形、変動帯の地形、安定地域の地形、河川がつくる地形、海岸がつくる地形、氷河・乾燥・カルスト地形が、人々の生活に及ぼす影響、生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c: 大地形、変動帯の地形、安定地域の地形、河川がつくる地形、海岸がつくる地形、氷河・乾燥・カルスト地形が、人々の生活に及ぼす影響について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 発問評価<br>小テスト<br>定期考査 | 発問評価<br>提出課題<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>ワークノートの記述 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 2 節　世界の気候と人々の生活 | a: 世界の各気候・植生と人々の生活との関わりについて理解している。<br>b: 世界の各気候・植生と人々の生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c: 世界の各気候・植生と人々の生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 発問評価<br>小テスト<br>定期考査 | 発問評価<br>提出課題<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>ワークノートの記述 |
| 二学期 | | 3 節　世界の言語・宗教と人々の生活<br>4 節　歴史的背景と人々の生活<br>5 節　世界の産業と人々の生活 | a: 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。<br>世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。<br>b:世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c: 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 発問評価<br>小テスト<br>定期考査 | 発問評価<br>提出課題<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>ワークノートの記述 |
| | | 第 2 章　地球的課題と国際協力<br>序説　地球的課題と持続可能な社会<br>1 節　地球環境問題<br>2 節　資源・エネルギー問題<br>3 節　人口問題<br>4 節　食料問題<br>5 節　都市・居住問題<br>6 節　地球的課題の解決に向けて | a: 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。<br>世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。<br>b: 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c: 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 発問評価<br>小テスト<br>定期考査 | 発問評価<br>提出課題<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>ワークノートの記述 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 三学期 | 第3部 持続可能な地域づくりと私たち | 第1章　自然環境と防災<br>序説　人々の生活と自然災害<br>1節　日本の自然環境<br>2節　地震・津波と防災<br>3節　火山災害と防災<br>4節　気象災害と防災<br>5節　自然災害への備え | a: 我が国をはじめ、世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。<br>さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。<br>b: 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c: 自然災害と防災について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 発問評価<br>小テスト<br>定期考査 | 発問評価<br>提出課題<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>ワークノートの記述 |
| | | 第2章　生活圏の調査と地域の展望<br>1節　生活圏の調査と地域の展望 | a: 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。<br>b: 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結びつき、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。<br>c: 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 発問評価<br>小テスト<br>定期考査 | 発問評価<br>提出課題<br>小テスト<br>定期考査 | 授業態度<br>発問評価<br>ワークノートの記述 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度